

科目担当者氏名 (ふりがな) おおたに しんすけ 大谷 信介		科目担当者連絡先(メールアドレス)
連絡責任者氏名 (ふりがな) なかの やすと 中野 康人		科目設置機関名 関西学院大学 社会学部
授業科目名 社会調査実習 I	科目認定番号	受講者数 20

## I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：この実習は、2015年5月に実施された大阪市をなくして特別区としようとするいわゆる「大阪都構想」が住民投票で僅差で否決された背景をより正確に把握しようという問題意識から調査が企画された。そこで問題と思われたことは、多くの市民や学生が、東京のことをほとんど知らなくて、住民投票をしていたという事実であった。そこでまず正確に東京と大阪の実態を比較してみようということで便利帳の分析をおこなった。学生がこの調査実習の一連の作業を進めていったことで、大阪都を構想することよりも、日本社会の税制の仕組みを抜本的に見直すことが必要だということに気づくようになっていったことは、学生の成長を感じた点であった。

## II. 調査の企画・設計(デザイン)

1. 調査のテーマ/領域：東京23区の区役所が発行している「便利帳」に記載されている行政サービスの内容を、全国20の政令指定都市と西宮市の便利帳の内容を比較分析し、住民に対する行政サービスがどの程度異なっているかを、便利帳の内容分析、ホームページの内容分析、各自治体への聞き取り調査によって比較分析した。
2. 調査の内容/概要：便利帳に記載されている内容とホームページ記載事項と聞き取り調査を駆使して、行政サービスの種類別にデータベースを作成した。そのデータベースを政府統計調査の数字と比較することによって、その妥当性を検証したうえで、東京23区と政令指定都市の比較分析をおこなった。
3. 調査の範囲/対象(量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入)：完成させたデータベースは、東京23区と20の政令指定都市と西宮市のデータであるが、興味深い行政サービスに関しては、全国47県庁所在都市データとの比較や近畿圏の市町村データとの比較についても考察した。
4. 主な調査項目：高齢者サービス(祝い金・配食・入浴・マッサージ・インフルエンザ補助等)・介護サービス(紙おむつ・理美容・寝具乾燥等)・子供向けサービス(医療費助成・学校給食・学童保育・保育施設・奨学金等)・医療助成(がん検診・休日診療等)・施設サービス(図書館数・蔵書数・温水プール・トレーニングジム等)・その他(ごみ処理・斎場・外国人対応等)の行政サービスを比較分析した。

## III. データ収集の方法と結果

5. データ収集(現地調査)の方法：東京23区・および大阪の24区の便利帳は、実習生が直接区役所を訪問し収集した。政令指定都市の便利帳は、郵送収集とデジタル版を利用するなどして収集した。情報がそろわない場合は、適宜該当区役所・市役所へ電話聞き取り調査をしてデータベース化した。
6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：2015年9月に受講生10人が、3班に分かれ東京23区の区役所を回り、便利帳の収集をおこなった。その後大阪24区の区役所も4班に分かれて訪問し便利帳を収集した。その後郵送等の方法を使って、20の政令指定都市の便利帳も収集した。
7. 収集したデータの量と質への評価(量的調査の場合は有効回収数及び回収率を必ず記入)：便利帳は、委託状況によって4つのパターンに分けられる。①委託なしで区が作成(10区)②NTTタウンページへの委託(5区と2市)③サンケイリビング委託(6区と3市)④サイネックス委託(1区と12市)。それぞれによって記載内容やデータの質も異なっていた。

## IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析/解釈の方法：便利帳に記載されている行政サービスは、その名称も、サービスの内容(対象・範囲・料金等)もバラバラであった。また、すべての便利帳に記載がない場合もあった。その場合は、各自治体のホームページに記載されている内容で補完したり、それでもダメな場合は直接区・市役所の4担当部局へ電話調査を実施し、データベースを完成させた。
9. 調査の成果(調査から得られた主な知見など)：東京23区が行政サービスにおいては、政令指定都市に比べ圧倒的な優遇状況があることが判明した。また東京23区の中でも、千代田区を筆頭に裕福な特別区と行政サービスの悪い特別区の格差が存在すること。それが基本的に財政状況に比例していることが判明した。便利帳分析によって、豊洲問題や東京オリンピック等の無駄遣いの背景が明らかになることが極めて興味深かった。
10. 報告書刊行の予定と概要：『行政サービスからみた東京一極集中—東京23区と政令指定都市の便利帳分析』関西学院大学社会学部 大谷研究室 2017年3月(109頁)としてまとめた。

- <記入上の注意点> 1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。  
2. 最上部の\*印の箇所には数字を(「\*/\*」には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3と)ご記入下さい。  
3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通りにして)、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけたら幸いです。  
4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。